

コード	401050302
記入日	H21.6.4

事務事業事後評価表

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	横道 藤隆

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川地区水産加工工場増築町補助金	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40105	基本事業名称	水産加工業の推進	目コード	2
事務事業コード	4010503	事務事業名称	水産業振興事業補助金費(加工)	細目コード	856
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町水産業振興奨励事業補助金交付要綱	

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象:誰、何を対象にしているのか			対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 漁業協同組合			(対象指標1) 1組合				
(対象2) 有川地区漁業経営体			(対象指標2) 518戸				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)		
*****		水産物処理加工工場増築 鉄骨造 平屋建 194.98㎡ 加工機械設備 温風乾燥機 1台 蒸気ボイラー 1台 セイロ台車 16台 高速自動充填包装機1台 海水滅菌装置 1台 作業台 2台	*****	*****	*****		
			① 補助金交付件数 1件 100%		交付件数1件÷申請件数1件	*****	
			(達成率分析) 計画どおり補助金を交付した。				
			②				
			(達成率分析)				
目的:何をしたいのか			成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
現在の水産加工工場は、既存施設の計画量の5倍近くを生産しており、生もの、焼き物を同室で製造するため、複雑な製造ラインとなり、注文に応じきれない状況があり、製造環境の衛生面についても好ましくない。増築により焼き工程と生加工工程を別室とし乾燥機を新設する事により、生産能力を向上させ、作業環境の改善を図る。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)		
			*****	*****	*****	増築面積÷計画面積	*****
			① 増築面積 194.98㎡		109%		平成20年度
			(達成率分析) 加工場を増築することにより作業環境の改善が図られた。				
			*****		*****	*****	*****
			② 製造量 14.5トン		76%	製造量÷計画量	平成20年度
			(達成率分析) 増築完了から1年が経過していないことから、計画数量には達しなかった。				

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。		単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
			計画	実績	実績	計画
活動指標	① 件	1	1			1
	②					
成果指標	① ㎡	179.00	194.98			179.00
	② t	19.0	14.5			19.0
総事業費C(A+B)		千円	42,340	36,807		42,340
直接事業費A		千円	40,940	35,407		40,940
人件費B		千円	1,400	1,400		1,400
内訳	従事職員数	人	0.2	0.2		0.2
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	21,834	18,884		21,834
	県補助金	千円	5,459	4,721		5,459
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源		千円	15,047	13,202		15,047

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	漁家の経営安定と漁獲物の付加価値向上をはかるため必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	水産業を取り巻く環境の変化に沿った計画であり、事業の必要性がある。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	水産物加工品の振興、漁家の所得向上が図られ、目的は適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	注文の多い時でも対応でき、作業環境も向上した。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	事業規模など適切であり、成果を向上させる余地は無いと思う。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	水産物加工品の注文に応じ切れない状況が発生したり、衛生面についても好ましくない状況が発生し、水産業の衰退に繋がる。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	単一事業であり関連する事業は無い
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	実施計画を精査しても削減する余地は無い。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	計画申請内容のチェック、補助金の整合性、妥当性を図り、事務の遂行をするため。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	補助金実施要綱に沿って受益者負担を行っている。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 なし
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	水産加工品のブランド化事業とあわせると施設の生産力アップは必要であり、地産地消・消費拡大に有効的である。。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。